

「学びの教室」

令和6年11月29日
 特別支援教室「学びの教室」
 巡回指導拠点校・通級指導校
 文京区立駒本小学校
 校長 根来 郁明
 文京区立汐見小学校(巡回校)
 校長 山田 晴康

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575 (ファクシミリ兼用)

通信

読み書きは諸学の基礎？

「うちの子、読み書きのつまずきがあるのですが、どうしたら良いのでしょうか。」というご質問をいただくことがあります。もちろん、「読み書きのつまずき」と言っても、「読み」だけなのか、「書き」だけなのか、それとも「読み」と「書き」の両方に弱さが見られるのか、お子さんによってその詳細は異なります。



「読み」に弱さがあるお子さんと一緒に、リーディングトラッカー(上の写真参照)の使い方を学習することもあれば、「書き」に関して、平仮名や片仮名の習得が十分でないお子さんが、それらをマスターできるように指導をすることもあります。

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	あ	り		み	ひ	に	ち	し	き	い
		る	ゆ	お	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	え	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

左の指導パターンは、まだ五十音表が正確に構成できていないお子さん向けに、いつでもパッと表が浮かぶようにするトレーニング方法の一つです(五十音を順に言ってもらいと「ハ行」「マ行」あたりがすっぽり抜けてしまうお子さんも意外に多い)。この場合、ただ唱えるのではなく、「あいうえお、あかきくけこ、あかさしすせそ、あかさたちつてと」と唱えること

とで、五十音表のイメージを頭の中につくっていきます。

他にも、どうしても形を覚えられない特定の字を正しくインプットするために、クッキー生地で作って焼き上げ、最後に食べて、文字通り「自分のものにする」というユニークな方法を使うこともあります。このように、子どもたちが困難さを抱える課題にアプローチするときは、単に繰り返して取り組ませるのではなく、実効性のある方法を見つけることも重要*だとされています。



何はともあれ、「読み書き」は、全ての学習の基盤となる大切な能力の一つです。特別支援教室では、これからも学習や生活の下支えとなる能力の伸長に向けて、鋭意取り組んでいきます。

*今井むつみ著「学力喪失」(2024. 岩波書店)より

<第1回駒本小学校エリア保護者学習会のお知らせ>

12月16日(月)の午後開催する令和6年度第1回保護者学習会(講師: 国立科学博物館研究主幹の田島木綿子先生)には、たくさんのお申し込みをいただきました。ありがとうございます。

現在、席に少しだけ余裕がありますので、追加で参加されたい方は、駒本小学校特別支援教室(直通電話:3827-5575)にお電話でお申し込みください。また、田島先生のご厚意で、お子さんの聴講も可能になりましたので、そちらについてご相談がある場合は、特別支援教室の担当教員までお問い合わせください。



なお、学習会参加にあたっては、次のことにご留意いただくとともに、ご協力をお願いします。

- ・発熱などの症状が見られる場合は参加をご遠慮ください。
- ・受付は「いずみ門」です。
- ・当日の気温によっては各自で防寒対策をお願いします。
- ・スリッパの用意はありますが、各自で履き物をご用意いただくことをお勧めします。
- ・既にご案内のとおり、「いずみ門の駐輪スペース」には限りがございますので、駒本小学校の**近隣にお住まいの方**は徒歩でご来校ください。

<2学期末個人面談(希望制)について>

日程調査票の提出にご協力いただき、ありがとうございました。たくさんのお申し込みをいただいたため、調整に暫く時間を要します。決定次第、日にちや時間帯をなるべく早くお知らせいたします。

※当日、急にご都合がつかなくなった場合は、駒本小学校特別支援教室の直通電話(3827-5575)までご連絡ください。

<12月のコミュニケーションタイムの主な学習予定>

「マイクロアドベンチャー」

電子黒板に投影された様々な事物の一部を拡大した画像から、全体を推測し、何の画像か当てるゲームです。子ども達に人気がある活動の一つです。答える際のルールの遵守、解答に自信がない場合にも答えようとする事の大切さなどにも触れていきます。今回は、1学期とは異なるテーマの素材を扱います。



「スーパーかるた」

この「スーパーかるた」は、教室で授業を受けるときと同じように、自席から前方の電子黒板を見て当該の「札」を探します。表のように縦横を揃えて投影するので、場所を答える際は「A-3」などと縦軸と横軸両方の座標で場所を答えます。「視覚的な短期記憶やワーキングメモリーの向上を図る」「注意をなるべく長く持続させる」ことなどを主なめあてとしています。今年は新しいバージョンとして「となりのトトロ」シリーズが加わります。



以上